

山形大学附属学校園だより

六 稜

2020.3.10

【発行】
山形大学附属学校園【印刷】
坂部印刷株式会社

【作業学習見学】 幼・特交流(2月)

PTAおよび同窓会の皆様には、附属学校園に対し日頃より多大なご理解とご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形大学附属学校園では、これまで進めてきた働き方改革の趣旨に則り、公立学校モデルとなるべく先進的な授業や研究活動を維持しつつ、慣例的な行事や業務の見直しに取り組んでいます。毎日の教室で教員が気持ちの余裕をもち、意欲的に子どもたちと向き合える環境づくりが、学校園の運営においてもっとも大切であると考えています。

一方、全国の国立大学附属学校園は大学と連携する教育現場として、山形を含む地方で急速に進む少子高齢化や、広範な影響力を持つ情報技術の発達に伴う社会環境の急激な変化といった地域や国の課題に積極的に取り組むことが求められています。

歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリは最近の著書『21世紀の人類のための21の思考』において、人は合理的に考えているつもりで感情に大きく動かされ、自分の頭で自由に考えているつもりで、自らが属する集団の思考や時代の価値観に深く囚われていると、私たちの心の弱点を指摘し、そのことへの自覚を促しています。

私たちを乗り越え、未来の社会を担っていく子どもたちに、今のような教育がふさわしいのか、これからの激動の時代を生き抜くしなやかで寛容な知性はどうのように育むことができるのか、このような問いと教育に携わる大人としての責務を胸に、附属学校園全体で前に進んでいきたいと思っています。



附属学校運営部長 鈴木 亨

二十一世紀を生きる 子どもたちの教育とは？

本校は、今年度、運動面では陸上競技、剣道競技で全国大会出場、文化面では第29回「ぼくたちの地球を守ろう」小学生・中学生作文コンクール外務大臣賞受賞、国際周期表年2019「私たちの元素－エッセイコンテスト」優秀賞受賞など、素晴らしい活躍を果たしました。

本校の研究では、今年度より探究型学習授業づくり研修会(5月・11月)とし、新聞等に掲載されるなど、研究成果を県内外へ広く発信し、好評を得ることができました。

今後も、保護者の皆様とともに「未来に貢献できる人づくり」を踏まえ、生徒一人ひとりに確かな力をつけるべく、教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

研究テーマ「未来を創る豊かな学びの探究
～教科を中心に育む資質・能力～」

主な行事と日程

4月26日	PTA総会、歓送迎会
5月23・24日	探究型学習 授業づくり研修会
6月23日	PTAボランティアによる環境整備
7月5日	大運動会
11月8日	合唱コンクール
11月14・15日	探究型学習 授業づくり研修会
11月17日	PTA情報モラル講習会

児童生徒会による「ふれあいタイム」では、全校児童生徒の縦割りグループによる主体的な取り組みを重ねてきました。単学部では得がたい学びと児童生徒の生き生きとした姿がありました。

また、今年度も、産業現場等における実習に積極的に取り組むほか、2度のオープンスクールや就労先及び放課後等デイサービスとの情報交換会等を通して、地域の方々や就労先の方々とも児童生徒の育ちを共有させていただいております。

学校研究では4年目の集大成「授業実践15号」を発行いたしました。授業作り研修会の他、各種研究会でも、本校の一步先んじた取り組みを発表する機会を得、広く発信して参りました。

今後も、地域で生き生きと活躍する子供たちの姿を、保護者の皆様と共に育んで参ります。

研究テーマ「一人一人が生き生きと
活動する姿を求めて」

主な行事と日程

4月29日	PTA総会
9月24日	PTA研修会
10月30日	PTA研修会Ⅱ・視察研修
11月8日	授業作り研修会Ⅳ
5月・7月・12月	ふれあいオリパラ春、夏、冬
2月17～21日	ふれあいオリパラ2020ウィーク

本年度も日本各地で自然災害の多い年でしたが、吉野彰さんのノーベル化学賞受賞やラグビーワールドカップでの日本の大躍進に盛り上がり、東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本全体が活気に満ちた年でもありました。

五月九日、十日には、東北地区国立大学附属学校PTA連合会定期総会山形大会が開催されました。附属学校園が今後果たすべき役割や課題等について再認識する機会となり、東北の各学校園とPTAが連携を深めていく思いを新たにすることができました。

また、子どもたちを通して長年継続している学校間交流では、親子共々貴重な経験と学びの場となり、山形大学附属学校園の連携の大切さを実感しております。

最後に、大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様へ感謝申し上げます。

編集後記と致します。

編集委員

石川 静香 青木 佳奈
外山 真奈美 高橋 麻子
元木 敦子 福井 雅子
若野 知子 山川 有子
関東 良子(特)



附属中学校



附属特別支援学校

今年度は、幼児期の遊びと小学校以降の探究的な学びのつながりに着目した「遊びと学びフォーラム」を開催して研究の成果を発信し、参会者とともに学び合いました。

また、教育課程の重点である「食育」への取り組みも2年目を迎え、山形大学の森研究室や保護者の皆様の協力を得ながら、「五感とのつながり」をより意識した活動に取り組みしました。毎月「食の日」を設定し、幼児の心身の発達に欠かせない「おやつ」や郷土の素材を使った料理等を通して、「楽しく味わって」食べる体験を大切にしています。土作りから取り組んで育てた野菜は10種類を越え、収穫・調理活動はもちろん、造形・表現活動、さらには間近に見る生育の変化に気づいたり、昆虫に好奇心をかき立てられたりする「心が動く」様々な体験にもつながっています。

研究テーマ「遊びこむ子どもを育む」

主な行事と日程

4月25日	PTA総会
6月20日	遊びと学びフォーラム
7月4日	ふようのつどい
9月14日	運動会
10月19日	親子行事
12月4・11・18日	ステージフェスティバル



附属幼稚園



附属小学校

子どもたちは、「心をあわせて みんなニコニコ附属小」という年間を通した大テーマを掲げ、日々みりの班活動等がんばっています。

今年度は、生活科・タイム(総合的な学習の時間)を軸とした学年・学級カリキュラムの充実力を入れてきました。それぞれの学年・学級で探究してきた学習内容を、伝えたい相手を明確にし、フェスティバル活動という形で表現方法を工夫し発表しました。4・5年生は、山形県の「郷土yamagataふるさと探究コンテスト」にエントリーし、うち4年生の1班が1次審査を通過し、最終審査で発表しました。

学校教育目標の一つである「日本の子」の具現化に向けて、郷土愛を育むとともに、プレゼンテーション能力を高める新たな取り組みとなりました。

研究テーマ「よりよい自分に向かって
歩み続ける生き方が育つ学び」

主な行事と日程

4月20日	PTA総会 歓送迎会
5月17日	開校記念式・チャレンジ記録会
6月21日	探究型学習研修会
9月7日	みのりスポーツフェスティバル
11月7・15日	授業づくり研修会①②
2月28日	6年生を送る集会

編集後記

今年度も日本各地で自然災害の多い年でしたが、吉野彰さんのノーベル化学賞受賞やラグビーワールドカップでの日本の大躍進に盛り上がり、東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本全体が活気に満ちた年でもありました。

五月九日、十日には、東北地区国立大学附属学校PTA連合会定期総会山形大会が開催されました。附属学校園が今後果たすべき役割や課題等について再認識する機会となり、東北の各学校園とPTAが連携を深めていく思いを新たにすることができました。

また、子どもたちを通して長年継続している学校間交流では、親子共々貴重な経験と学びの場となり、山形大学附属学校園の連携の大切さを実感しております。

最後に、大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様へ感謝申し上げます。

編集後記と致します。

計報

附属学校事務室長
石井滋さん(享年65歳)が、令和2年2月9日に逝去されました。
ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



PTA研修会(特P.T.A)



PTA主催による情報モラル研修会(中P.T.A)

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。
今年度は、昨年度からの効率的なPTA活動の運営方針を継続し、保護者の負担軽減をした中で活動を深化させました。
毎年継続の保護者研修会を、今年度も開催させていただきました。
卒業後の進路の準備に関しては、保護者として悩みは尽きません。子どもの進路は多様であり、一般企業への就労、福祉的就労としての就労移行支援「就労A型・B型・生活介護」の各事業所を3つのグループに分けて見学いたしました。それぞれの事業の特徴を親としてしっかりと把握するのは大変な事です。我が子の状況を照らし合わせて、正確なより良い選択の準備をする貴重な機会となりました。
保護者会の活動としては「お下がり会」の活動も継続し、大変重宝されております。今後も先生方と密に協働し、より充実した学校生活を送れるよう、また卒業後を展望するための有益な活動を積み重ねて参ります。皆様のご指導ご尽力に心より御礼申し上げます。

附属特別支援学校PTA会長 児玉千賀子

今年度のPTA活動によせて

平素より本校PTA活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。中学校の活動を簡単に御紹介させていただきます。
昨年十二月十四日土曜日、保護者研修会を、外部より講師をお招きし、本校体育館にて開催しました。グリー株式会社社会貢献チームマネージャー、小木曾健様より「正しく怖がるインターネット」と題して、インターネット利用に関する良い事例、怖がる事例を一時間半に渡り、わかりやすく説明いただきました。最後は、質疑応答の時間を設け、会場の保護者へ回答と解説をしていただきました。参加者もネット社会は「私は知らない、関係ない。」ではすまされない環境になってきている事を再確認する、まさにタイムリーな内容の講演をいただくことができました。
今からの時代、ネット社会は必須で、正しく上手に利用していける環境を考える、実のある研修会になりました。

ネット社会を考える

附属中学校PTA会長 吉岡 裕志



PTA研修会(小PTA)



親子行事(幼PTA)

PTA活動

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。
本校のPTA組織は、「一人一役」ということで、各部会、母親委員会と全員参加できるPTA活動を目指して年間の活動計画を策定しております。
総務部は歓迎会の運営、体育部はPTAレクリエーション、市P連および一中学区ソフボール大会の運営、広報部は年二回の附小便りの発行、研修部は保護者を対象とした研修会の開催、安全部は児童登下校時の交通指導、母親委員会は制服リユース会を行っております。
これらPTA活動への皆様のご協力により、保護者相互の関係ができ、ひいては子どもたちの学校生活をより良くできているものと思います。
子どもたちが一層充実した学校生活を送れるよう、今後もPTAと先生方は目的を共有し同じ方向を向いていくことが必要です。そのためには引き続きPTA活動に対するご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

附属小学校PTA会長 尾原 俊之

PTA活動報告

日頃よりPTA活動への深いご理解と多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本園のPTA組織は、学級委員長会と、行事部、広報部、図書部の三つの専門部で構成されています。保護者の皆様のご協力のおかげで、一年を通して充実した活動を行うことができました。さらに、昨年の五月には東北地区国立大学附属学校PTA連合会定期総会山形大会が開催されました。働き方改革の考えの下、例年よりもスリム化した内容での開催となりましたが、先生方と保護者が協力することで、他校園との有意義な情報交換を行うことができました。
また、本年度の親子行事として、山形市少年自然の家において、オリジナルのけん玉を制作し、お昼には玉こんにやくを味わいました。山形県は競技けん玉の生産量が全国一位であり、こんにやくの消費量も日本一です。子どもたちが、山形の文化や魅力に触れることのできた行事となりました。
今後も、園と保護者が連携し、子どもたちの成長を支える活動を行っていきたくと考えております。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

附属幼稚園PTA会長 押野 茂

山形の文化と触れ合い



附属小学校との交流及び共同学習(特・小)



世界の音楽に親しもう みんなでダンス(中・特)



小中合唱交流(小・中)



家庭科交流(幼・中)

交流学習の様子